

※富雄第三中学校区



めざす子ども像

地域を愛し、思いやりのある子ども

▶富雄第三中学校区 地域教育協議会

地域・子どもの現状	子どもたちの多くは、安定した家庭で育っており、幼いころから習い事や塾に通い、知識が豊富である。学校は施設一体型の小中一貫教育校のため、子どもたちは9年間かわる人間関係が限られているが地域には子どもたちの教育をサポートできるような貴重な人材が多く、その力を活用することが期待できる。
伸ばしたい子どもの具体的な力	・地域の様々な大人たちとふれあう中で人間関係の幅を広げ、相手の気持ちを大切にできる心を育てる。 ・年齢や立場の異なる人との協働活動を通して自己有用感・自己肯定感を高め、たくましく行動する力や、相手への思いやりの心を育てる。 ・国際交流を通して「もてなす気持ち」、福祉交流を通して「思いやりの気持ち」を大切にし、積極的に様々な人と交流しようとする力を育てる。
取組内容	「地域連携協働事業」「学校園支援事業」により、さまざまな人と触れ合うことを通じて「地域の顔見知り」を増やしなが人間関係の幅を広げ、相手を尊重する心の育成を目指す。幼稚園、小学校、中学校、養護学校、地域による連携作業と羊毛を使ったクラフトグッズの製作体験等を中心としたある「羊プロジェクト」を通じて、自己有用感・自己肯定感を高め、前向きにチャレンジする力を育成する。「広報活動事業」ではボランティア、コーディネーター募集チラシ、とみさんボランティア情報などの発行により、人材発掘に努め、教育環境の向上を目指す。



▶富雄第三中学校 運営委員会

学校園・子どもの現状	本校の子どもたちの多くは、恵まれた環境に育ち、幼い頃から習い事や、塾などに通い知識が豊富である。一方で、恵まれた環境を当たり前のことととらえがちなところも見受けられる。 同時に大人たちも豊富な知識や様々な職業経験を持った方が多く、教育熱心であり、子どもに対しての関心度も高いが、その豊富な知識や経験を子どもたちのために活かす場がまだまだ少ない。
伸ばしたい子どもの具体的な力	思いやりや感謝の気持ちを持って、地域の人たちとかかわりながら、地域のよさに気づき、地域の一員として主体的に生活していこうとする力
取組内容	地域人材を活用して、地域と学校と子どもにかかわる諸団体とが「体験的」「コミュニケーション」「楽しさ」「つながり」などを意識した学びの場と機会を設け、地域や本校のよさ、地域の人たちの思いを感じ取れるようにし、学校生活に生かせるようにする。



▶富雄第三小学校 運営委員会

学校園・子どもの現状	本校の子どもたちの多くは、恵まれた環境に育ち、幼い頃から習い事や、塾などに通い知識が豊富である。一方で、恵まれた環境を当たり前のことととらえがちなのところも見受けられる。 同時に大人たちも豊富な知識や様々な職業経験を持った方が多く、教育熱心であり、子どもに対しての関心度も高いが、その豊富な知識や経験を子どもたちのために活かす場がまだまだ少ない。
伸ばしたい子どもの具体的な力	思いやりや感謝の気持ちを持って、地域の人たちとかかわりながら、地域のよさに気づき、地域の一員として主体的に生活していこうとする力
取組内容	地域人材を活用して、地域と学校と子どもにかかわる諸団体とが「体験的」「コミュニケーション」「楽しさ」「つながり」などを意識した学びの場と機会を設け、地域や本校のよさ、地域の人たちの思いを感じ取れるようにし、学校生活に生かせるようにする。



▶富雄第三幼稚園 運営委員会

学校園・子どもの現状	子どもは、入園までは家族中心の生活で温かく見守られているが、他者との関係が希薄な家庭が多い。校区は、坂道が多く少しの距離でも自家用車を使用し、歩く機会が少ないように思われる。本園で実施している未就園児保育（ミッキーグループ）や奈良市子育てスポットぱふなどで、初めて同年代の子ども達に出会い遊ぶということになる。幼稚園ではいろいろな人たちとかかわりを大切に一幼、一小、一中という地域性を生かし、小中学校・富雄保育園・奈良西養護学校との交流や、地域行事への参加など行っている。また、地域の方々の指導によるお茶会やダンス教室やわくわく農園の野菜づくりなどの園支援を得ている。
伸ばしたい子どもの具体的な力	・人とかかわる力を育てる。 ・しなやかな心と体づくり。
取組内容	・地域の人や様々な人とかかわりを大切にする。 ・友達と一緒に、体を十分に動かして遊ぶことを楽しむ。 ・様々なあいさつをできるようにする。 ・季節を感じながら戸外で遊ぶことを楽しむ。 ・幼小中の滑らかなつながりを深める。

